



NISHI EYE HOSPITAL

西眼科だより 第12巻2号

(季刊誌)

2010年4月発行

編集責任者：倉橋美雪

Nishi Eye Hospital

西眼科病院 〒537-0025 大阪府大阪市東成区中道 4-14-26 TEL: 06-6981-1132

〈ホームページ〉<http://www.nishi-ganka.or.jp> 〈e-mail〉office@nishi-ganka.or.jp

西眼科病院「最新治療」のご案内

《二重焦点(遠近両用)眼内レンズ》

白内障手術における眼内レンズの1つです。近くにも遠くにもピントが合う遠近両用の眼内レンズです。通常の眼内レンズと比べ、白内障手術後の生活における眼鏡の必要性が大きく減少します。

《屈折矯正手術》

白内障術後の左右の屈折(視力)でお困りの方、左右差のため眼鏡がどうしてもあいにくい方にはエキシマレーザーによる「タッチアップ」術をオススメします。また、近視、遠視、乱視を矯正する治療法として「有水晶体眼内レンズ(Phakic IOL)、LASIK、Epi-LASIK、LASEK、PRK、PTK」等があります。

《加齢黄斑変性症の治療》

抗 VEGF 抗体薬(アバスチン®・ルセンティス®・マクジェン®等)を硝子体内に注射することで、新生血管の増殖や成長を抑えることができる治療法です。加齢黄斑変性症、静脈血栓症、

糖尿病網膜症、強度近視による黄斑出血などに効果的な治療法です。

《角膜内皮移植(DSAEK)》

角膜が混濁(水疱生角膜症)し視力低下を起こした時の治療法です。角膜全体を交換するのではなく、角膜内皮細胞(角膜の傷んだ部分)だけを取り替える角膜内皮移植術(角膜パーツ移植)です。術後の不正乱視が生じにくく、裸眼視力の向上が期待できる有効な手術法です。

《炭酸ガスレーザー》

眼瞼下垂などで炭酸ガスレーザーを使用し治療します。切開と同時に止血も行える、出血の少ない手術法です。

《鼻涙管内視鏡》

直径 0.9mm の筒状の器具で、モニター映像を見ながら涙道の閉塞部を検査処置します。鼻涙管内視鏡によって、確実な診断と処置が可能となります。

《ボトックス治療》

眼瞼痙攣に有効な治療法です。眼輪筋の周囲に非常に薄めたボツリヌス菌の毒素を注射し、痙攣を取り除く方法です。

当院は「眼科専門病院」です。医師達は厚労省の指定する講習を受け資格修得し、最新の手術・治療を施行しております。ご安心ください。治療にお困りの方はご相談ください。